新京日日新聞 夕刊 十月十日(火)

振はなかつたハルビン競馬
六日間の總賣上僅か六萬圓

(ハルビン九日發國通)國立競馬場として國內最初の競馬大會を擧行したハルビンの秋季競馬は初日の九月三十日より意外の好成績をあげ秋晴れの十月九日を最終日として幕を閉じた、然し今期の競馬の成績を南滿各地の先進競馬と對比すると甚だ幼稚なもので六日間の勝馬投票券賣上總高は僅かに六萬圓である、之が原因はハルビン市民の競馬に對する認識が貧弱であつたことに基因して居る、然も單勝券複勝券、搖彩券共一率に國幣一圓とした事等にある、然しながら次回競馬よりはその優秀な馬場の設置と南滿にも稀な競馬場行專用道路等の工事完成により次第に更生するに到るであらう

結氷直前に
水路會議愈よ開催
問題の黑河で

ソ滿兩國の懸案たる黑龍江の水路問題を處理すべきソ滿水路交渉は、本年一月より徒らに日を重ね、八月以來休會となつてゐたが愈々來る十月末滿洲國側委員は黑河に赴き結氷直前より會議を開くこととなつた、右水路會議はブラゴエシチエンスク又は黑河に於て開かれる筈で、ソ側委員は黑龍江水路局長ズータフ、滿洲國側は在ブラゴエ滿洲國領事實鴻埠を委員長に任命する筈である

池田成彬氏後任
萬代氏承認
三井臨時總會

(東京九日發國通)三井銀行は十日午前十時臨時總會を開催するが、池田成彬氏の辭任による取締役の後任としては大阪支店長萬代順四郎氏を承認し、萬代氏の後任として支店長級二、三名の異動を見る模樣である

佛首相
獨の軍擴態度を痛擊

(パリ八日發國通)當地で開會の佛國急進社會黨大會に於てダラディエ首相は八日軍縮問題並に財政の均衡に關し其の政策を披瀝し獨逸の軍擴態度を痛擊して左の如く述べた
何人と雖も、獨逸が大國として存在せんとする權利を否定するものはなく、又獨逸を屈辱に陷入れんと豫想するものもない而して獨逸政府が其の目的は平和的だと抗辯しつゝあるが、果して然らば何が故に斯くの如く戰鬪的に青年を動員するのだ、何が故に一度軍縮條約が調印され、實施されゝば忽ち破壞せねばならぬ高價なる武器の製造權を要求するのであるか、佛國の財政は是非共此際收支の均衡をとらねばならぬ故に、數日內に議會を召集すべし、其後一週間內には財政の改革が確保されるか、然らずんば內閣の更迭を見るであらう

職員拘引は
單なる司法事件だ
日本政府の全然關知せざる所

(東京九日發國通)ソヴエート政府は義に北鐵ソ聯側職員の背任行爲に

=對し= 滿洲國のとつた措置を以つて日本側の使嗾に基くものなりと爲し、右は北鐵を奪取せんとする意圖と見做さざるを得ないものであつてその直接責任は日本政府にありとなし、駐露太田大使並に廣田外相に對し、所謂警告的意思表示をなす所あつたに對し外務省當局はソ側のかかる理由なき抗議を一蹴すると共に北鐵ソ側職員の問題は單なる司法事件であつて帝國政府の全然關知せざる所である、ソ政府が右事件を以つて北鐵交渉と關聯あるが如く曲解し帝國政府を誣ふが如きは甚だしき見當違ひである旨を廣田外相よりユレニエフ大使に言明する所あつたが九日外務省着の報告に依ればソ政府は尙も執拗に同問題をとり上げて居る

即ち九月九日付を以て駐滿大使菱刈大將より外務省へ發した報告なるものを發表し右文書に依つて北鐵紛爭問題が日本の指金によるものたること其他日本が北鐵交渉を有利に導くため滿洲國政府をしてソ側に對し壓迫手段を講ぜしめつつある事實が分明となつたと述べて居るが、右に對し我が外務省當局は先づソ政府の言ふ菱刈大將より

=外相= に送つた報告なるものは全然接受したる事實が無く憤慨しソ側がかかる虛構な宣傳手段を弄し殊更に北鐵ソ側職員背任問題を北鐵交渉と結びつけ交渉の進捗を阻まんとするにおては我が當局においても考へ直さざるを得ずと憤慨し近くソ側の眞意を聞くと共に猛省を促すと決意するに至つた

九月末國債總額

(東京九日發國通)大藏省發表九月末國債額左の如し(單位千圓)

內國債	五、九八四、四九一
外債	一、四二一、二一一
合計	七、四〇五、七〇二
大藏證券	一六〇、〇〇〇
米穀證券	二九六、六一八

外地輸出好轉

(東京九日發國通)拓務省發表—九月中の外地總輸出額七百三十萬二千圓、總輸入額七百二十九萬九千圓、差引出超三千圓、一月以降累計總輸出額四千七百八萬六千圓、總輸入額七千四百九十八萬四千圓、差引入超二千七百八十九萬七千圓、前年同期の入超に比し千七十三萬四千圓減少し、貿易好轉の徵を示してゐる(千圓以下四捨五入)

新京辯護士會生る

今回新京在留の辯護士を以て新京辯護士會を設立會長に大原萬千百氏が推され事務所を老松町十六の同氏事務所內に置いた

紡績株
一齊に奔騰

(東京九日發國通)シムラ會商の成行で紡績株は最近見送られて居たが人絹株の活躍とシムラ會商の樂觀見越し等に買氣漸く加はり爾來好轉步調にあつたが後場に至り明日發表の中旬貿易の樂觀氣構へ等に買氣益々強く短期鐘紡は二百四十七圓九十錢新鐘紡百二十七圓八十錢と共に最近の新高値に躍進し九月中の安値から見ると十七圓方奔騰を演じた

新京特別市政に就て (三)

新京特別市長 金璧東

丙全安橋

本市全安門外に伊通河あり雙陽伊通及吉林に通ずべき要道たりしも河水狹淺にして航行頗る不便を感じたり、此に於て民國時代長春地方官總資金を醵出し全安橋を修築し以て航行に便せんとせり、依つて資金數萬圓を募り工事を開始せるも修工其の人を得ず工事又粗漏にして建國當時に至る迄毫も進捗するものなかりき予就任と共に該橋梁は本市東南各地に通ずべき要道なるを以て速かに完成し以て交通に便益せんとして前工の改善を企て新規經費十三萬餘元を計上せり、而して大同元年二月十九日工事を開始し努めて工事の堅固を計りしに同年十一月三十日始めて竣工を告げたり、橋長九十六米幅七、八米全部鐵筋コンクリートを以て構成し工事堅牢にして規模宏壯能く十二噸の重量を支ふるに堪へ、每平方米五〇〇キロトン(每平方呎百磅)を支ふるを得べし

斯くて交通無障行旅暢達にして誠に本市有數の建築物たり

更に本市社會事業團體に就て一言するに、建國以前に於ては該事業殆んど言ふべきものなかりき、假令一部少數の私人社會事業團體ありとするも只慈善事業を偏重し經費亦豐かならず、統制聯絡に乏しく何等成績の見るべきものなかりき、本署爰に鑑る所あり之が勃興を提唱し之を發展せん事に努めたり、乃ち本年三月の候、新京社會事業聯合會を設置し以て本市社會事業をして統制ある聯絡ある合理的共同發展を遂げしめ同時に部會を率じて促進せんとしたる結果七月一日に至り之が正式成立を見るに至れり、中間經辦事業甚だ多きを以て逐一詳述する能はざるは遺憾とする所なれども、更に本社會事業は日滿聯絡提携の必要あるを以て本年七、八、兩月に亙り日滿社會事業大會を擧行せり、爾來本市社會事業日に發展に趨けり、本署方面に就ては宿泊所設立、救養工廠督辦及濟良所等設置の如きは啻に餘事に屬するのみ、玆に贅筆を要せざるべし、更に教育方面に就て述べんに建國後本署は極力教育の普及徹底を提唱せり、即ち地方十九個小學校を接辦し教員を選拔し教授法を改善し經費を增加し視學を派遣せるもの現在に至るまで十九ケ學校に及び教職員總數七十三名學童三千二百十一人學級六十級、校舍二百五十餘間、每年經費五萬七千餘元に達せり更に此後長春縣立各學校を移管し以て全市教育の整備發展を圖りつゝあり、之本市教育一年間の大要情形なり

更に衛生方面に就て述ぶべし衛生の事たるや市政重要事業の一にして舊政權時代にては本市衛生機關極めて不備なりしに鑑み本署は衛生科を設けて努力改善するのみならず經費千餘元を投じて公共便所六ケ處を加設し又四千餘元を費して撒水車を購入し更に本市は馬車の通行多くして市街隨所に馬糞放散さるを以て馬糞袋を創製して糞便の減滅を計り以て衛生に利せんことを努めたり、尙ほ昨夏の防疫と今夏のコレラ豫防注射とは偉大なる好成績を收め得たり、更に衛生隊の活動に至りては公共衛生の講求、蔬菜等食糧品の消毒等、逐一摘記に堪へざるものあり、尙市有財產及家屋の整理、市營住宅の一部完成市公園の修造整頓等々擧げ來れば其數枚擧に遑なきが故に之に贅筆を用ひざるべし、以上縷述の諸事業は均しく市民諸氏の熟知する所にして敢て功を誇らんとするにあらざれども此を舊政權時代に比すれば隔世の感あり以て市民の自ら然りとする所なるべし

珠玉を砕く

禁無斷上映上演

吉井勇 (高根秀浩畫)

(百三十八)

最後の舞臺 (三)

「あら、もうそんな時間なの」

俥の來たといふ知らせを聞くと露子はびつくりしてさういつて訊いた。

「えゝ、もうあなた一時でございますよ」

婆やはさういつてから疊の上に突指をして、

「あの、お召物は……」

「さうねえ。あのいつもの疋田の長襦袢と、それから着物はこの間福田屋から持つて來た唐棧柄のお召がいゝわ」

「お羽織だの、お帯は……」

「羽織や帯は昨日の儘でいゝわ」

さう聽くと婆やはすぐに階下に降りて行つた。暫らくすると俥夫と何か喋り合つてゐる聲が聽こえて來た。

露子はそれからかなり長い間ぼんやり床の上に坐つたまゝ、とりとめのないことを考へてゐた。そのうち不圖氣が付いたやうに立ち上つて、だらしのない寢間着姿のまゝ湯殿の方に降りて行つて、ゆつくり念入りに化粧をした後で婆やの出して揃へてある着物に着換へ始めた……。

露子の家は鐵砲洲の方に近い、かなり奧まつたところにあつて、五間ばかりの小さな家だつたけれども、しかし兜町で名うての株屋が、妾宅として建てたものだけに、木にも好みもかなり數寄を極めてゐた。それにすぐ往來を隔てゝ川があるだけに、何となく落着いた靜かな住居だつた。かうして着物を着換へてゐても、艪の音などがかすかに聽こえた。

露子は婆やに手傳はせながらゆつくり着物を着換へてしまふと、書抜きや何かを袱紗に包んで、それを抱へるやうにして待たせてあつた俥に乘つて、家を出驅けた。わざと俥の幌の色を、黄味がゝつた鼠色に塗つてあるので、すぐにそれが露子の俥だと判ると見えて擦れ違ひさまに、

「あゝ露子の俥だぜ」

などゝいふ聲が、深く包んだ幌越しに聽こえた。乘り慣れた俥の揺られ心地は、そんなに惡いものではなかつた。

と、俥が家を出てからもう五六町も走つてからだつた。露子は何だか臺詞を覺えてゐなかつたのが心配になつたので、書抜きを出して讀んでゐると、不圖誰だかかなり大きな聲で、

「露子さん……露子さん……」

といつてゐるのを聽いた。と同時に俥がぴたりと留まつたかと思ふと、

「何をするんです。危ないぢやありませんか」

と詰るやうにいふ俥夫の聲が聽こえた。

「なあに……。何うしたの……」

露子はぎよつとしたやうに書抜きから目を離して、やゝ慌たゞしげにさういつて訊いたが、その時前幌のセルロイド越しに、彼の女の目に入つて來たのは、にや／＼笑つてゐる大貫の横顔だつた。

「あゝ、大貫さん……」

露子が思はず叫ぶやうにかういふと、大貫はぢろりとこつちを見上げながら、

「はゝゝゝ、飛んだ車曳をやつちまひましたね。實は少しあなたに話があるんだから、ちよつと降りて呉れませんか」

「えゝ、あたしに……」

露子はちよつと不安を感じながら訊き返した。

「えゝ、ちよつとあなたの耳に入れて置かなければならないことがあるんです」

「さう……しかし……」

露子が躊躇してゐるのを見ると大貫はまるで命令するやうな調子で言つた。

「まあ、兎に角お降りなさい。降りなきやお話が出來やしない」

奇怪至極ソ聯政府
菱刈大使公文書僞造
帝國政府極度に憤慨對策審議
日ソ間に一大波瀾

【東京十日發國通】ソ聯邦政府が我菱刈駐滿大使の公文書なるものを十月八日突如中外に公表し、日本政府が滿洲國を使嗾して對ソ聯陰謀を計畫してゐると稱道せる事件に關し、我外務省並に軍部はソ聯側の中傷も甚しきとなし極度に憤激し、九日對策を鳩首審議するところあつたが、取敢へず我出先官憲をしてその眞相を調査せしめることゝしたが、目下のところ次の如き强硬なる態度を持してゐる爲め今回のソ聯側の外交文書僞造事件をめぐつて日ソ關係に重大な波紋を畫くものとして各方面から注目されるに至つた

一、ソ聯邦政府が今回日本の外交文書なるものを僞造發表せることは國際信義上許すべからざるソ聯邦政府の背信行爲である

一、日、滿、ソ關係が今日の如く極めて微妙なる時に於て、ソ聯側が殊更に日本を國際的に中傷せんとする企てはソ聯側の意圖が奈邊に存するかを充分推測せしむるものである

一、即ちソ聯側が今回の如く平地に波瀾を起し故意に日本の立場を不利ならしむる露骨なる方策に出たる以上、日本としても國家の權威の爲、必要なる對抗手段を構ぜざるを得ず

一、從つて今後本事件を惹起せるソ聯側の眞意を糺し、若し飽迄日本政府に對する不信行爲を改めざるに於ては斷乎たる手段を構ずるも已むを得ざるべし

ソ聯の不信極まる行爲には斷乎措置を執る迄
陸軍側また大憤慨

【東京十日發國通】ソヴイエート政府の發表した怪文書に就いて陸軍側では未だ公文が到着しないが陸軍當局は斯かる有り得べからざる怪文書を作製して我國を陷入れるソ聯邦の不信極まる手段に對しては斷乎たる措置を執るまでであつて、これに對しては外務省が直ちに嚴重なる措置を執るであらうと語つた

ポグラ事件と檢擧問題で
施代表輕く一蹴す
ス總領事お門違ひの抗議

【ハルビン九日發國通】六日午後ソ聯總領事スラヴツキーは外交部特派員公署に施履本代表を往訪しポグラ事件及び北鐵ソ聯從業員檢擧問題に關し抗議をなすところあつた、即ちポグラ事件に關しては滿洲國官吏が發砲したことは全く不當で從來よりエゴロフ領事は屢々國境を越へてゐるがかゝる事はなかつたと述べるや施代表は滿洲國側の態度は全く正當であり、今迄はエゴロフ領事の不法越境が發見されなかつた爲め何事もなかつたが今後斯る事件の再度發生せぬ樣貴方に於て充分の注意を拂つて貰ひたいと警告したるにス領事は兎に角本事件はこれで解決にしやうと折れて來たので施代表は將來の保證を要求してこれに同意した

北鐵ソ聯從業員檢擧問題に關しては再度北鐵社員の釋放方を要求したるに對し、施代表はお社員は刑事上の犯人であり目下檢事局に於て訊問續行中なる以上これを如何ともなし難き事を重ねて説明、ス領事の抗議を輕く一蹴した

ソ聯飽迄專橫
紛糾の北鐵問題に又復油を注ぐ

【ハルビン九日發國通】ソ聯側の專橫沙汰に依つて依然としてドサクサ狀態を續けてゐる管理局内のお家騷動は、又しても頑冥なるソ聯側の行爲に依つて、未曾有の不祥事を惹起するに至つた

即ち六日午後管理局會議室に於て、一九三四年度北鐵使用の枕木並に鐵道附屬製材工場及び歸綏内立賣所の權利拂下問題につき審議すべく、管理局委員會を開催、トルスト、張明哲兩副局長、崔權核局長、トワノフ、エファイモ兩處長外問題の代理處長田、王並びにソ聯側任命のコートフ、レビギンも出席會議は劈頭より只ならぬ險惡な空氣を漂はし、先づ張副局長立つて本會議の議事錄に關しては代理處長の田、王兩處長のサインを要求するからソ聯側任命のコートフ、レビギンは代理處長として認める事は出來ぬ、仍つて兩氏の退場を命ずると主張すればトルストフ副局長はこれに對しルーデイ局長任命のコートフ、レビギンは代理處長として認めるものである、滿洲國側こそ退場すべきであると應酬飽く迄不法を主張するので張副局長は會議開催は不可能なりとし斷然椅子を蹴つて退席すれば崔權核局長、田王兩處長もこれに續いて退席その結果滿蘇副管理局長二名權核局長車務、機務、商務、總務處長の七名を以て構成されその決議效力發生は五名を以て可能たる本委員會はかくて流會となり北鐵營業の主要懸案は全く解決不可能となるに至つた

張家口領事館開館

閉館中であつた張家口の領事館は九日から開館、橋本事務官代理が代行中である

山内さんが當分所長代理
荒木氏が不在の爲

新京地方事務所長荒木章氏が東京大阪を始め滿洲と最も關係深き敦賀その他内地各地の主として産業狀況を約一ケ月に亘つて視察することになつたがその不在中の所長事務取扱として特に大連本社から地方行政事務に明るい主任級の人がこれに代るやうにも傳へられてゐたがいろくの都合から地方係長山内敬二氏が適任者として臨時取扱を命ぜられることゝなり、近日社報を以て正式に發表されることゝなつた、因に荒木所長は既に新京を出發、來月十日頃には歸任、また山内氏も赴連中で十日午後七時三十分歸京の豫定である

(寫眞は山内地方係長)

徳川公の來京により
新京赤十字病院設立愈よ具体化せん
半額は滿洲で負擔 敷地は軍司令部隣

日本赤十字社副社長徳川圀順公は滿洲總本部視察の爲、九日午後七時卅分吉澤支部長等の出迎へを受けて到着、ヤマトホテルに投宿したが、右公爵の來京により新京赤十字病院設立の件も愈々具体化さるものと見られてゐる

日本赤十字社は滿洲國成立以來全滿に亘つてその活動網を張りすでに大連、奉天、安東、新京、ハルビン等の重要都市には支部を設けて社員を募集しつゝあるが、本社よりは特に徳川副社長出張して各支部所在地を巡視せしめるとゝもに新京に一大病院の設立計畫を進めてゐる右計畫によれば第一期計畫實現のための資金を五十萬圓としその半額は本社が出資し半額は滿洲に於ける日滿人より募集することゝしすでに募集を開始してゐる、滿人の病院設立に對する熱望は著しいもので二十圓以上の寄附者すでに八十名に達してゐる、而して昨夜來京の徳川公は本日軍司令部新廳舍兩隣の敷地を視察し、大体病院候補地に内定した模樣であるから奉天、旅順に次いで新京に一大赤十字病院が設立されるのも遠くあるまい

時局批判演説會
日比谷公會堂で盛大に擧行

【東京九日發國通】憲政擁護ファッショ粉碎、時局批判演説會は正午より日比谷公會堂に開催されたが、數千の聽衆參集し珍らしくも芳澤前外相が外交國策を、内田信也氏は國防問題を、濱田國松氏は財政問題を、大口喜六氏は五一五事件を中心とする時局批判等の演説あり注目された

石井深井兩全權
十日御賜 謁を賜ふ

【東京九日發國通】長き道では十日午前十一時石井、深井兩全權に拜謁を賜り、會議の經過を御聽取遊ばされる旨御沙汰があつた正午には豐明殿で全權の外齋藤首相、廣田外相等にも御陪食を賜る事となつた

ソ電務處長室を閉す

北鐵管理局に於けるソ滿兩國檢擧者後任任命を繞つて紛爭を續けてゐるが、五日ソ側電務處長代理は處長用呼出電話を占領私服して滿洲側代理に抗し又機務處長代理滿洲側の田氏はソ側の同代理デビーギン氏に對し處長用電話取除を要求したが、應ぜず處長室を占領して出でず張り通し路轉哨數名が來たところ室から出て鍵をかけ封印して、正式にソ側代理を認むるまでは開扉せぬと聲明した

江省國境警備充實

【大黑河六日發國通】九月二十八日到着した國境警備隊は諸般の準備を終り本日より國境線黑龍江沿岸二個所の監視所に警備につき更に乘馬監視隊が國境沿線の巡邏を開始したので市民一般は非常に心强さを感じてゐる、尙ほ七名は愛琿に分駐して居る

神戸上陸の蔣公使語る

【神戸九日發國通】駐日支那公使蔣作賓氏は夫人同伴九日午前十時秩父丸で到着した同夜は寶塚ホテルに一泊、十日午後十時神戸發の同船で横濱に赴く事となつた、氏は語る

日支關係の全局的打開に關しては具體案を有つて居ないが廣田外相に面會の上其の成案に就て政府の訓令を仰ぎ具體案を決定の答である、今や我が國は政府も國民も共に日支關係好轉の成行に就て注視して居るが、これは經濟上からも地理上からも當然のことで廣田外相も日支關係好轉を期待しておられると思ふ

印度代表悲鳴
矢繼ぎ早の會議に
早く纏めたい意向

【シムラ十日發國通】日印會商交涉は雙方肚の探り合ひ狀態で實質問題に入るは尙可成の時日を要すと觀られてゐるが印度側のフランク、ノイス氏は斯樣に一日置きの會議では堪まらぬと近親に洩らしたと傳へられており事實印度の委員達は頻々たる會議に稍へこたれた樣で殊に來月十三日より臨時議會が開かれる關係もあつて會議を早く纏めたい意向も動いてゐる模樣だ

倉田代表
輸出割當量提議

【シムラ九日發國通】第三次日印民間協議會は九日午前七時三十分開會、倉田代表より日本綿製品の輸出割當量に關する具体案を提出し、右を中心に協議を遂げた、右案は發表されないが、仄聞するところに依れば、大体五億一千萬碼前後を一年間の輸出量として主張したと解されてゐる、尙印度側は右案の考慮を約して同十一時二十分散會した

方、吉兩軍又復逆戻り
北平攻略を策す
然し舊東北軍動かず

【東京九日發國通】陸軍情報に依れば方吉兩軍は最に關東軍の重壓を蒙り、急遽西方に退いたが、その打擊僅少なりし爲最近又復逆戻り高麗營を始め昌平、口頭等を援陷し、北平攻略を期せんとしてゐる

然るに舊東北軍將領は悉く方吉兩軍の地盤を荒して反感を招くを避けてゐるのみならず劉桂堂の如きも尙は容易に發動する模樣なきにより、方吉軍の北平進出は實現性少きものと見られる

方吉刃を納む
要求が容れられ
何應欽全線に停戰命令

方吉兩軍は日本軍飛行機に爆擊されて懷柔順義を出で十三旅の山中に避中し、昌平、高麗營附近に出沒して荒してゐるが、寒氣と食糧欠乏のため北平の何應欽に對し投降を申込み解除費五萬元外遣費五萬元を要求したが六日夜部下の王仲府に北平の何の下に遣りて交渉の結果交渉成立何は直ちに全線に對し停戰命令を出した、これで北支の動亂も一先づ大團圓となつた理由である

張學良を
新疆に封ぜよ

東北軍各將領は今後の北支を如何にすべきかにつき種々協議中であるが萬福麟は王以哲の歸來をまつて凡てを決すべし王の歸來を待つてゐるが、張學良を新疆に封ずべしとの説があるが、彼等は張學良は中央に留る軍の指揮は絕對させぬと言つてゐる、失意の張學良の末路亦哀れなりと云ふべきである

第三次日印民間交渉で
倉田代表關税引下げを强調

【シムラ十日發國通】第三次日印民間交渉は昨九日午前十時半より前回印度側が日本綿製品の印度産業脅威に對しては、販路協定かクオーター制に決定したいと述べたるに對し本日倉田代表より、若し斯かる協定をなさんとせば、先づ綿製品關税七割五分を六ケ月前の五割以下に引下ぐ可きで、而かも現在の爲替狀態から關税基準率を二割とし、之にオッタワ協定差別關税一割を加へ、五割加税當時と現在の爲替相場の差額一割二分を加算し以上合計四割二分に關税引下げ後で又綿布輸入數量割合に就ては昨年度の輸入實績を基準とし決定すべきだと述べ、之に對し印度側モデー氏は種々質問し印綿不買問題には觸るゝに至らず午前十一時半散會した

尙十日開かれる豫定の日英當業者會議は延期し十時半より日印當業者會議を續開する筈である

代表肚の探り合ひに
解決を焦慮

【シムラ九日發國通】日印會商は未だ肚の探り合ひの程度を出でぬが、仄聞する所によると、印度政府代表は今の樣に一日おきに會議を續けられては堪らないと印度委員は頻々たる會議にへこたれ、來月十三日の議題を控へて會議をまとめたいとの意向を持つて居る模樣である

印度産業の安定は
日印協定成立だけではだめ

【東京九日發國通】ボムベイ栗原領事發外務省着電によれば英領印度の棉花市場は新棉出廻期を控へて四十五萬俵の古棉を擁し加ふるにシムラ會商見透りの買需なく市況閑散で市場には日印會商成立要望の聲高くなりつつあるが、しかし最近露支兩國棉花市場との競爭激甚で印度産業の安定は單に日印協定の成立のみでは保障されぬとの議論が擡頭しつつある

陸軍定期異動の下馬評

【東京十日發國通】十二月一日發令される陸軍定期異動に就て重なる異動の下馬評によれば松井石根、荒木貞夫兩中將は大將に進級し、憲兵司令官秦眞次中將は師團長候補に擬せられ守備隊司令官候補として參謀本部附佐藤三郎中將近衛師團司令部附武田秀一中將があげられてゐる、尙關東軍小磯參謀長の師團長轉補等は明年三月以後まで保留する模樣である

人事往來

▲岡村少將(關東軍參謀副長)九日午後四時三十分發奉天へ
▲小林治郎氏(新京公學校長)同上
▲熙洽氏(吉林省長)九日午後二時吉林より來京
▲徳川圀順公(日本赤十字社副社長)九日午後七時三十分來京
▲隅中將(平壤海軍燃料廠長)同上
▲小磯中將(關東軍參謀長)十日午前七時歸京
▲上原種豐氏(元寶町小學校長)十日午前九時發南行
▲吉岡弥明氏(東京女子醫專副校長)十日午前七時來京
▲吉岡房子女史(醫學博士)同上
▲染谷保藏氏(本社代表者、盛京時報社長)十日午前九時發奉天へ

團体

▲東京々橋商業生四十八名十一日午後九時十五分來京午後十時發安東へ
▲國誠時報主催團二十五名十一日午前十時卅分南行
▲貴族院議員十名十二日午後三時二十五分來京同日四時三十分發南行
▲長崎縣立農學校生二十九名十二日午後六時五十分來京

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一八片二分一
同遠限	一八片一六分九
紐育銀塊	三六八四分三
孟買銀塊	五六留比一六分七
米英爲替	四弗六八仙四分三
米日爲替	二七弗七五仙
米支爲替	三〇弗五〇仙
スチール株	四八弗四分一
カナゴンダ株	一六弗八分一

棉花

●米棉 現物 十二月限 一月限 三月限 五月限 七月限 十月限 [illegible]

▲上海標金 昨止 高値 安値 本寄 歩値 [illegible] 休會

▲大連金鈔票 現物 十月十二日限 十一月二十七日限 寄付 歩値 [illegible] 不出來

▲大連上海向 引値 高値 安値 出高 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 第二回 [illegible]

新京市況

特産現物 大豆 高粱 小豆 [illegible]

錢鈔 鈔票對金票 現大洋對金票 國幣對金票 現大洋對鈔票 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 株新 紡新 新 [illegible]
▲同短期 大鐘新 東新 [illegible]
▲大連株式 當限 先限 五品 豆新 錢鈔 [illegible]
▲大阪三品 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪期米 [illegible]
▲仁川期米 [illegible]
▲横濱生糸 [illegible]
▲神戸豆粕 [illegible]
▲カルカッタ麻袋 [illegible]
▲大連特産 ●麻袋 ●大豆 ●豆粕 ●豆油 ●高粱 [illegible]

滿鐵社員割當株の 社外逸出嚴戒
新京は大した事もないが 血眼の社員會本部

滿鐵增資記念社員割當二十萬株については最近「その三分の一」が早くも社外へ逸出したやうに傳へられたので滿鐵社員會ではスワ『大事』とばかりに直ちに調査を行つたところ事實は約五十分の一は散逸の恐れがあることが判明した、同社員會では今度の社員割當株は愛社心の發揚と直接關係する社員が同時に株主であるといふ近代的企業体系の理想から立脚したもので、この精神に則つて社員銘々で保持し飽くまで社外散逸を防ぐこととし、これがため社員相互でこれを行ふ場合は『本部』で賣買その他を斡旋することとなつたが、社員會ではこれが逸出自制のため神經を尖らし監視してゐる

天野辯護士
昨夜新京發東京へ

拘引狀の執行により九日午後三時半新京憲兵隊本部より領事館警察署に泛致された神兵隊事件の重要なる關係者天野辰夫辯護士は東京より來京せる警視廳の警部補山口部長付添ひ、九日午後十時發の列車に乘込んだが見送りの各關係者に雜つた新京に於る熱心な減刑運動家山本氏に堅い握手と共に、送る者、送られる者何れも悲壯な面持ちで氏は、「滿洲支部を頼みます」の唯一言、見送り人をして興奮の涙さへ感ぜしめたが、列車がホームより離れるや窓口から一般見送り人に對しても、慇懃な挨拶を述べる所あつた

驛ホームの 掲示板
永久的なものに

最近著しく增加した乘降客連絡客及其他の誘導等列車發着毎にホームは大雜沓をかもし其の中に迷つてホームを右往左往する人々も相當に見受けられるので其れ等人々の誘導として列車發車時刻列車發車ホームの掲示板の新設及改訂の必要を認め新京鐵道事務所旅客係ではさきに試驗的に紙方掲示板を作成貼付し係員の[illegible]努力と相俟つて其不備を補つてゐたが斯の如く一時的の應急策では甚だ不体裁であり又非常に見にくい爲同係で今回永久的な見易い木製の取除可能なる、掲示板に變更すべく移動式掲示板十脚及同右用掲示板六板を本社へ申請中で近く認可され實現を見る模樣である

新京百貨店の 萬引

九日午後八時ごろ新京署中谷李、品、三刑事が新京百貨店に張込中擧動不審の滿人男が呉服部から婦人用反物を盗み客にまぎれ込み逃走せんとしてゐるを認め逮捕し取調べた處河北省生れ曹慶祥(三〇)で犯人は本年三月ごろから同百貨店に客を裝ひ呉服部に目を付け反物を盗み出し城內附屬地の滿人質店に入質費消してゐたもので發見した贓品は十數反に上つてゐる

功績を殘して
奧平廣敏氏去る
明朝發ハルビンへ

萬寶山事件、柳條溝事變、寬城子、南嶺攻擊、所謂滿洲事變からつひに滿洲建國にまでに展開して餘りにもあわたゞしい長春であり、新京であつた、この間首都新京の經濟界ひきゐて立つてゐる新京商工會議所會頭の重席にあつた奧平廣敏氏は今度日滿合辦哈爾賓交易所常務理事に轉任十一日午前八時四十分新京發列車で赴任することゝなつたが早朝氏を自宅に訪へば氣持ちよく迎へて語つた

思ひ出で深い五ケ年半でありました、何といつても萬寶山事件に九、一八事變續いて長春から新京へ、その間悲壯の思ひ痛快な感じ、何と申しても一昨年九月十八日から十九日にかけて夜中の零時頃柳條溝の報一度渡るや死の思ひ、悲壯な思ひがしました、十九日午後二時頃長春駐屯軍部隊を殘して全部奉天へ移された時に時の地方事務所長達と相談して心ひそかに心配したことは夜襲でもされた場合の市民の避難所、市中が暗黑化された際、あるひは食料品、牛乳(乳兒用)味噌醬油、を如何にするかと言つた樣なことをずいぶん心配しました、午後二時から三時の間にそれに對する計畫を決めました、一番痛快に感じたことは寬城子、南嶺の勝利が傳へられた時と事變勃發以來市民が一致協力結束して善處した事でした、離京に際して希望したいことは商工會議所の會頭問題、と市民會問題、水道斷水等の問題で特に滿洲國政府に對して新京の商工業者の意見を述べる機關と機會がより多く與へられて、滿洲國側の方針がはつきり早くわかる樣にして欲しい、ハルビンへ行つてからは暫く靜觀主義でやらう、民間の日滿合辦法人はこんどの交易所が始めてであるから一般から關心を持たれてゐるから、注意してやる、必ずしも華々しい仕事は出來ぬかもしれぬが、日滿合辦の本質を發揮したいもので、何事も同樣だが殊に經濟界での激變を與へないことは必要で銀建國幣の如きも今暫く銀建を持續したがよいと思ふ

長春座問題
その後に來るもの
賣却か小會社に改組か

すつた、もんだで興業主にさはがれ且つ當局も手をやいてゐた長春座も新京署の斡旋で會計並に貸主、興業者間に圓滿解決を見會社が直營することに決定したことは既報の如くであるが、會社側では興業者に對し十一月一ケ月を無料で借すことにし同月の日割當は近く新京署保安係で決定し十二月から直營で進むが、後にのこされた問題は同會社の負債の辨濟方法としては同社の賣却かもしくは小規模で且つ堅實な會社を組織するかの二つの議論が持出されてゐる

新滿洲唱歌集
あらたに懸賞募集
賞金一等は金百圓

南滿洲教育會教科書編輯部では今回新に滿洲唱歌歌詞の懸賞募集をなし新しい滿洲にふさはしい唱歌集を募集することゝなつた懸賞要項は左の如くである

一、程度
イ、尋常小學校第四學年程度
ロ、同五學年程度
ハ、同六學年程度

二、內容
滿洲の地方色豐にして滿洲兒童の愛唱に適するもの、但し現行滿洲唱歌集と同題目のものはなるべく避けられたい

三、格調
現行滿洲唱歌集に準ずること

四、記載法
イ、用紙は半紙版原稿用紙に限る
ロ、原稿は同文のものを二通送附すること
ハ、原稿には直接署名せず別紙に住所職業氏名を認めて貼附すること
ニ、封筒には應募原稿第何學年程度と朱記しおくこと

五、締切昭和八年十一月三十日

六、送附先、大連市兒玉町七番地南滿洲教育會教科書編輯部

七、發表昭和八年十二月中

八、賞金一等金百圓一篇二等金五十圓一篇、三等金二十圓一篇、佳作金五圓數篇

九、其の他
イ、應募者は一人にて幾篇投稿するも差支へなし
ロ、原稿は一切返却しない
ハ、入賞したものを採用する場合修正することがあるかも知れない

通遼附近の ペスト狀況

通遼西方百支里暗太泉附近には依然ペストが猖獗し部民は脅々として避難しつゝある、六日通遼防疫班の調査報告によると同地の發生後死亡者は十九名で現在患者二名この內一家族十一名が死亡し全滅のうき目を見てゐる又附近五ケ部落では既に二十八名死亡し續々新患者の發生を見てゐる

農安のペスト また擡頭

日滿各衞生當局の決死的防疫によつて最近稍ゝ終熄しつゝあつたペスト病が再び擡頭しはじめ九日は農安附近に七名の患者の發生を見又洮南カ十五支里高力板にも去る九月八日より本月八日迄に八名の患者を出したので現在は嚴重隔離を行ひ警戒に餘念なし肺ペストか、腺ペストかに付いては目下四平街細菌檢査所で檢査中である

洋服店員の 惡事

城內大馬路門牌十號河村洋服店々員陶秉郁(二一)は花柳病に罹つたが治療費はなく苦悶中遂に同店の洋服を盗み出し治療費にあてゝゐたが最近家人にかんづかれてゐるを知り同店を飛出し馴染である城內市場料理店華江堂抱への金花の室に潜伏してゐるを九日午後九時ごろ新京署員が發見寢込を襲ひ逮捕した

故勇士へ供 物料
視察者の奇篤

台灣在鄕軍人會台南支部台南分會理事小原一策氏は滿洲國視察のため滯京中、深く感ずるところあり南嶺、寬城子の故勇士靈位に供物料として金二十圓の寄附を地方事務所に申出たので同所でも快く受納した

街の日記

土木建築請負業 新鮮組設立

土木建築請負業合資會社新鮮組といふのが新京東二條通六二番地に設立された同人は伊藤政吉、金榮來、鄭在興、金昌東、嚴吉運の諸氏であると

貸住宅と貸宿舍 興運莊生る

日滿合辦滿洲拓殖公司も利就氏の經營の樂天地興運莊といふのが住宅三十餘戶簡易宿舍十數室が今月末までに出來上り一般に低廉な料金で賃貸することになつた、國務院を經て執政府に對する興運路に入り興運幼稚園新京花壇となり閑靜千三百餘坪の敷地內に約三分の一を住宅としたもので各戶に相當の土地があり野菜草花の栽培も出來る理想的なもの尙莊內には男女浴場もあり追て俱樂部其他の娛樂場も添設されるさうで賃貸料住宅は月三十五圓、宿舍は廿三圓下宿は四十一圓其他の詳細は事務所日本橋通八四電話二一三〇番へ照會されたいと

黑川內先生が お芽出たで辭任

朝鮮人教育のため盡し兒童達から慈母の如く慕はれてゐた新京普通學校教員黑川內鈴子さんは六日附辭任したが長い間のお馴染である新京普通學校長苗木俊夫氏と近く正式に結婚されるとのお芽出度い話

小林前校長 時局後援會へ寄附

滿人教育の大恩人、前新京公學校長小林治郎氏は九日離滿に際して新京時局後援會へも金五十圓を寄附した

東本願寺の 佛教講演會

新京東二通曙町角の東本願寺では十日午後七時半から特派布教師芳原政信本明龍貫兩師の講演があるが十一日は午後二時半からと同七時半からの二回前夜同樣講演があり一般の參聽を希望すると

淨土宗長春寺の お十夜法要

曙町淨土宗長春寺の授戒會は十日で終つたが更に十一日午後七時から例年の通りお十夜法要が營まれ總本山特派布教師五島法任僧正の說教があり一般の來聽を歡迎すると

驛構內の 警官派出所 近く改築

新京驛構內の警察官派出所は長春時代其の儘の狹隘なるもので八名の警察官の收容不能は勿論煖房の設備も不充分の爲今回これの擴張を行ふ事となり近く工事に着手する豫定である

宮本洋服店の 奉仕

我等の洋服店が祝町、東二條通角に新らしく生れた、宮本洋服店がそれで既製品專門の洋服三ツ揃、防寒用オーバコート、ズボン、コールテン作業服等種々樣々の品が揃つてゐる、生地は少し膩つてゐるが五割儲けてゐたのを三割儲けて別に値揚げはせず奉仕すると

福井高梨組 苦力小屋全燒

九日午後七時四十五分ごろ新京舊競馬場建築地福井高梨組苦力小屋から發火し小屋を全燒し同八時三十分鎭火した、損害ヵ十圓原因は殘り灰の不始末と判明した

有明の藝妓逃走

城內西五馬路料亭有明こと宮崎キノまん方抱へ藝妓正子こと組陳マサノ(一九)は九日午前八時ごろ滿鐵病院に行くと稱し外出したまゝ歸宅せぬため搜査方を新京總領事館警察署に願出た

柳咲子一行 近く來京

松竹下加茂撮影所において時代劇女優として風にその藝風を認められ名聲ある柳咲子一行十名は去る十月一日來連、新舞踊(奴道成寺)を上演して好評を博し目下沿線各地を巡行中で、軍隊慰問を兼ね新京へは十四日來京、同日および五日の二日間新京市民ファンにお目見えすることゝなつた

交通網整備 を主眼とする
民政部の道路河川調査進捗

特產物搬出、交通網整備を目的とする在來の道路、河川に就いての狀況調査は、舊政權時代に於て何等基礎となる調査がなかつたので滿鐵の調査資料を基本とし、民政部土木司に於て目下實地に就いて調査を機續中であるが、右は道路、河川の各般の狀況を表にして整理する一方道路網、河川統計の作成をなすものである、尙は現在までに調査を終れる主なるものは左の如くである

チ、ハル附近の嫩江、遼遠中間道路、河川、洮南、洮安、鎭東、遼源、梨樹、新氏、錦各縣內の道路網、其他松花江、うすりい河の一部、興凱湖畔附近等がある

運轉手試驗 合格發表

去る九月二十五日新京署で施行した關東廳自動車運轉手試驗の總受驗者は六十六名で內合格者は三十四名である、この合格者は殆んど內地で免許狀を所持してゐるものである前月受驗、合格に比し非常な好成績であつた

本社主催 煖房具展
出品申込昨年の二倍
各煖房具の長短を知り得て
購入者は自由に撰擇

我社主催第二回煖房器具展覽會は豫定の如く愈よ十五日、日曜を初日として十七日の祭日まで三日間西本願寺境內に於て開催につき目下着々會場準備進工中であるが屢報の如く出品申込者前年に倍加し續々申込殺到し更に豫定會場敷地を擴張する有樣で豫想以上の盛況を見るに至つた、出品煖房具は各社工場各々優秀を誇る發明品揃のストーブ類のみにして數十種の煖房具を一堂に集め公衆は詳細なる實物實驗により十二分の選擇を爲し購入の決定を得る譯で販賣業者と需要家の間を斡旋し各家庭共に最も留意すべき燃料の節減、合理化經濟、体裁優美、高度の放熱、保溫、取扱便にして堅牢、焚附の容易衞生上の可等各條件につき最善の選定をなし得る事として看過することの出來ない催しとして多大の興味を以て期待せられてゐる(出品申込みは電話三三〇〇番へ)

上原室町校長 靜養に歸國

室町小學校長上原種豐氏は宿痾喘息になやまされ月余靜養中であつたが結氷期に向ひ更に注意の要あるので十日朝發列車で鄕里に歸省したが別府邊で暫く保養の筈

不治の病人
自ら死を望む場合
安易な永眠を與へる事を得
ドイツの新刑法

〔ベルリン八日發聯通〕八日ドイツ司法省は新刑法に關する覺書を發表し、不治の病人が自ら死を望む場合には之に安易な永眠を與へる事を合法とすべし、との公約を行つたので果然全國にセンセイションを捲き起した

右提言は宗教、醫學、並に家族問題等の諸問題に關聯し、思想戰爭を惹起する形勢となつた、特に各教會派は基督教の教義に基づき強硬に之に反對を唱へる模樣である

保險魔阪上
新義州で轢死

〔安東十日發國通〕保險金壹萬九千圓に自己の理性を失ひ友人の中本榮太郎を遙々內地より羅津の曙旅館に誘ひ込み中本を毒殺してまんまと保險金を橫領せんとして中本の死体に自己の姓名を與へ自分は毒殺した中本榮太郎の姓を名乘り事件發覺と共に身の危險を感じ遂に行方を晦し嚴重なる當局の警戒網を潜り彷徨つてゐた一代の保險魔阪上富三郎は屍体となつて現れ、しかも騷がれた替玉遺骨歸宅事件は事件發生後漸く一ケ月振りで終結をつけるに至つた事件が決する迄の經過は去月廿六日午前七時釜山發奉天行急行列車が新義州驛に停車中乘客の一人が中折帽を線路內に取落しこれを拾はんとして折柄動き出した同列車に捲込れ無慘にも胸部を粉碎されて轢死を遂げた事件があつたが其の後當局に於て同人の身柄につき調査中の所遺留品によつて十三日羅津曙旅館に於て中本を毒殺し十五萬九千圓の保險金を橫領した世に怪奇を極めた替玉遺骨事件として喧傳された眞犯人阪上富三郎に酷似してゐると云ふので新義州署の大活動となり阪上の原籍地たる奈良縣大和五條署に寫眞を送附し照會したるに、阪上の次男敏夫(二三)の言に依れば大体に於て父に似てゐるがもう少し調べねばはつきり判らぬと云ふので尙眞相を調査するため五條署の增本巡査は敏夫を同行昨八日午前五時四分遙々內地より新義州に來着直ちに新義州署の應援を得て假埋葬されてゐた阪上の死體を發掘檢證の結果本日に至り同死体が保險魔阪上富三郎たることが確證された譯である

慶安異聞 艶魔地獄

([illegible]上演 映畫化)

玉水三郎

(繪)長谷川小信

(六十一)

俠客の同情(十一)

一人の怪漢は、篤と四邊の容子を窺つて、高手小手に縛り上げられたお八重の大旋に近寄ると、小聲で、

「花魁、無事か」

言はれて吃驚、大旋が見ると、覆面はしてゐるが、正に唐犬權兵衛。

「オヤ親分」

「シーッ、永居は無用だ。さア一緒に此方へ來ねえ」

言ふより早く繩を解き捨て、其手を取つて走らうとする。

相川忠太夫はそれと見るや、斬け寄つて、

「曲者……狼藉者」

出會へとまで言はせず、權兵衛は拳を一寸見せた。其早い事、もう忠太夫は脾腹を當てられて、バッタリ氣絶。

用人下役始め若侍の面々、今の忠太夫が叫びを聞いて、

「案破曲者が忍び入つた。それ討取れッ」

口々にわめいて、此方を指して飛んで來る。

築山の後の老松を利用して、繩梯子は疾に懸つてゐる。權兵衛は大旋を助けて、松の木から繩梯子で塀の上へ登らせ、自分は追跡する數人に向つて、鬱散してゐると、一人の若侍が穂長の槍を引つ提げて、權兵衛目蒐けて突つ懸る。

「洒落臭え事をするな」

身を轉じて空を突かせて置き、手早く千段卷を摑んで、グイと突き戻した。己が槍の石突きで、鳩尾を突いて「アッ」と一聲ブッ倒れた。

其間に塀に攀り上つた權兵衛。

「花魁、お前さんさへ助けて了や、用はねえのだ……もう親船へ乘つた積りで安心しねえ」

塀外にも下へチャンと繩梯子が懸けてある。安余にお八重は降り立つた。

「さア斬けられるだけ、斬け出しねえよ」

手を取つてグン〳〵引ッ張り、雅頭お八重は權兵衛に連れられて行つて了つた。

此方は青山主膳が、四阿に在つてそれと聞き、

「忠太夫は何をして居る。多くの者が居りながら、唯一人の曲者に女を奪はれるとは、言ひ甲斐なき奴輩」

滿面朱をそゝいで怒つた。が右も左捨置けんとあつて、築山の方へ來て見ると、忠太夫は介抱されて、ヤッと息を吹返した處。

「忠太夫、何と申す醜甲斐ない事か、曲者は如何致した」

目を白黒してゐる忠太夫、申譯がないから、

「大抵其と判つて居ります曲者、手前が必ず引捕へてお目に懸けます」

通用門へ駈附け、門を蹴いて飛んで行く。

「忠太夫一人にては心許ない。一同も續いて行けッ」

「ハッ」と四五人、同じく其跡に隨つて飛んで行く。

青山主膳は苦り切つて、家來達や女中までを叱りつけてゐる。

忠太夫も今は一生懸命、九段坂まで來ると、月明りで男女二人の姿が見へる。

「占めた」と許り追跡すると、小川町へ出て、筋違ひ見附けへ急ぐ。筋違ひまで來ると、バラ〳〵と七八人の怪漢が又顯はれて、

「親分心配してゐやした」

「さア花魁此方へ……」

「親分、お怪我は……」

「いゝい」

唐犬權兵衛、につこりして、

「フム、思ふ圖にはまつて、見ろ多くの奴等を出し拔いて、助け出して來た。ナアーニあんな奴輩に、怪我をさせられて溜まるものか」

と、その時忠太夫は「[illegible]れッ」と言つて、一刀引拔いた。

十月十一日 水曜 庚戌 大安 建 參宿 (舊八月廿二日)

● 一白の人 他人の依頼を引受くるも成就は困難なる日 庚さ辛さ癸が吉

● 二黑の人 他の言に迷はされず一路常業に直進すべし 甲さ丁さ癸が吉

● 三碧の人 思ふ事成らず意氣消沈して不快に終るべし 庚さ亥さ癸が吉

● 四綠の人 始めの元氣に反して故障のため憂鬱さなる 丙さ庚さ亥が吉

● 五黃の人 穩かなるやうなれど陰に不安の潜むが如し 卯さ丁さ壬が吉

● 六白の人 幸運に當りて熱誠なるは益々良化すべき日 未さ癸さ寅が吉

● 七赤の人 運氣盛にして萬事圓滿すべし起業緣組亦吉 丙さ申さ寅が吉

● 八白の人 進退滯を超ゆれば氣運は平凡以下さなる日 甲さ壬さ癸が吉

● 九紫の人 進んで成らざる事なき日奮勵努力を吉さす 庚さ癸さ寅が吉

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

若槻總裁
ロンドン條約の誤解一掃に努めん
條約成立に至る實際經緯を堂々と發表するか

〔東京十日發國通〕民政黨の若槻總裁はロンドン海軍條約に關しては帝國全權としてロンドンに赴きこれが調印にあたつた關係上本問題に就ては今日迄一切の發言を控へてゐたが最近に至り軍部及び政黨の一部には統帥權國防問題等に關聯せしめ非難の聲が擧り來るに鑑み、鈴木總裁は過般の政友會大會でこの點に論及し動もすれば政治家中にさへ雷同するものが現はれる事は國民を惑はすの甚だしきものなりと、これが成行を憂慮してゐたが近く何等かの方法を以てロンドン海軍條約問題に就き態度を表明することを此の程決意したので多分來る十五日丸ノ内會館に開かれる民政黨定例懇談會席上で行はれる筈である

外、藏兩相と軍部側の意見對立
内閣存立に影響するものとし五相會議の成行重視

〔東京十日發國通〕五相會議は十日午後一時から首相官邸で開催されるが、國際協調主義に『依る』外交手段を踏襲せんとする高橋藏相廣田外相の意見と、主義として賛成だが現下の情勢は最惡の場合に處する準備を要するとの軍部側の意向との對立は依然解消せず、本日の會議は其成行注目されて居る、右會議に就き陸軍では自由主義外交の成果が何なるかは既に明かで帝國の國際環境は外交のみで解決し得ず國土防衛の準備を先づして外交手腕を發揮すべきである。而のみならず右に要する軍事費は繰延べられた繼續費を求めて支出せんとするのみで之をしも拒否せせんとするのは認識不足である」と荒木陸相を支持しつつあり、としても有耶無耶に譲れぬ立場に在る、一方高橋、廣田兩相の意見も多數閣僚が支持して居り荒木陸相に内閣存立に影響を與へぬやう希望して居るが勢に依つては豫斷を許さぬ形勢にあり五相會議の結果によつて右するか左するか『内閣』は勿論帝國の進路を決定するものと重視されて居る

第十回滿鐵評議員會の提出議案審議

新京滿鐵社員會では來る二十七八の兩日大連本部にて開催の第十回評議委員會提出の議案審選の爲十日午後三時より新京驛貴賓室に於て社員會評議委員會を開催高澤驛長、中山庶務長、山下工務保安主任高橋旅客外十余名出席種々審議を行つた

遠藤總務廳長歸京

ハルビン視察中であつた遠藤總務廳長は關口秘書官帶同十日午後三時二十分着列車で歸任した

壽府一般軍縮會議
二ヶ月振りで九日再開

〔ジユネーヴ九日發國通〕去る六月二十九日以來久しく休會中であつた一般國際軍縮會議は九日幹部會を二ヶ月半振りに再開、日本からは佐藤尙武大使が出席した 幹部會の席上ヘンダーソン議長は休會中に於ける各國政府との私的折衝の經過を報告して左の如く述べた
現在の狀勢は軍縮問題技術檢討でなく、寧ろ政治的決定を必要とする時だから今後更に暫く此種私的折衝を繼續する必要がある軍縮會議には現在尙ほ重要の未決問題が殘つてゐる

日本移民制限は事實無根
伯大使外相訪問

〔東京九日發國通〕ブラジル大使アマラール氏は午後三時外務省に廣田外相を訪問し、最近日本でブラジルでは日本移民を制限してゐると傳へられてゐるが、それは事實無根で大いに歡迎してゐる、と諒解を求むる所があつた

明朗そのもの
太陽將軍の日常
鶴見書記官の話

吾等の司令官菱刈將軍は滿人側からは「太陽將軍」軍人からは「愉快な親爺」といはれその日常生活も頗る超然たるものがあり每日今岡副官と共に朝食を共にする鶴見參事官もその洒脫振りに感歎しつつ將軍の日常生活を語る

每朝將軍は四時半頃起床される、そして太陽を拜して天皇皇后兩陛下の御安泰を祈り、それから朝食を召上られるが、私と副官と三人丈けで一緒に色々な話をされて何時も愉快に明るく食事されてゐる、將軍は干物がお好きで、每朝、味噌汁と干魚をパリ〳〵嚙み乍ら雜談や、情報等をお聞きになる、それで食事が四十分かゝる。將軍は實に話の大家で、私がアメリカの話をしてゐると「アメリカ人は林檎を喰るかね」などお尋ねになるが、それから話をほぐして次から次に話を引き出す遣り實に驚くほど巧く話材が、豐富で將軍の昔話や、論話が每日〳〵長くあれだけあるものだと感心してゐる、然し話してゐて肩が凝らず氣がおけず俗世を解脫してゐる」夜なども如何なる人と會ふのにも氣輕にモンペ姿に手拭一本腰にして應接されるので訪客の方が恐縮させられる、別にお機嫌が惡いことはないが、何か考へ事でもあるときは外を無心に眺めておられるだけである、犬がお好きなさうだがこちらには連れて來られてゐない

シムラ第六次會商
各品目に亘り日印双方譲らず
議題いよ〳〵全面的となる

〔シムラ十日發國通〕日印政府第六次會議は昨日午前十一時開會され『協議』は綿布、人絹始め各種の雜貨が品目別に討議され問題は遂に全面的に擴大された其の上印度の銑鐵、米に對する日本の關稅まで討議の的となつた前回印度が各種雜貨の輸出統制を希望したのに對し日本側はメリヤス、セメント人絹石鹸等の小規模工業十數種の諸商品は輸出數量極く少く印度產業に差したる影響を與へはしない、と述べたるに印度側は飽く迄輸出統制の必要を主張し次いで印度側は、「日本が綿布關稅引下げ提案をなしたがそれには人絹の大量輸入に對する何等かの制限がなくては無意義ではないか」と主張したが日本側は此の主張する心事は人絹も輸入制限の一部に入れんとの肚と見透し綿布關稅引下げと人絹問題とは別個に分割討議すべき筋合ひのものである、と主張し双方譲らず、次いで印度は銑鐵に對する日本の關稅とラングーン米の輸入制限緩和の意志如何と詰寄つたが日本側は銑鐵に對する日本の保護關稅は現在の市價よりみるに妥當である、又ラングーン米輸入制限緩和は國情より到底不可能な『事で』あると一蹴した、かくて雜貨問題は次回の十一日に讓り午後〇時四十五分散會した

米穀應急策に
外米輸入の禁止的勅令公布か
最も打擊を受けるはシヤム

〔東京十日發國通〕農林省では減段案と籾貯藏案、移出米許可制案を米穀應急對策として實施する方針であるが、同時に外米輸入禁止に就き外務當局と打合せしたるに意見一致し從來の部分的な外米輸入許可制とは別箇に全面的な外米輸入許可制の勅令公布に決定、支障なければ本日閣議に上程可決し、直ちに上奏御裁可を仰ぎ十一日公布實施する事となつた
其の結果外米輸入の筆頭たる一ヶ年百萬石の輸入額あるシヤム米が大打擊である

濠洲の爲替調整と關稅改正兩案
我對濠貿易に大打擊
外務非公式に要求提出

〔東京十日發國通〕濠洲政府の爲替調整法案及關稅附加稅改正案は、本邦輸出に大打擊を與へるもので、外務省では直に對策を講ずることとなつたが、日濠間は現在無條約國關係に在るので表面から抗議する法的根據は無いが、今後開かれる通商條約締結に對し惡影響を與へるものとし、取敢へず村井シドニー總領事宛に訓電を發した、我國は濠洲に對し一億圓餘の入超を示し片貿易關係なるを斯くの如き日英差別待遇するのは非友誼的である

一、我國は濠洲政府に日英差別關稅率緩和を要求する。若し考慮せねば我國は對抗措置を考慮せざるを得ぬ

一、日濠通商條約交涉開始の場合現在の差等は關稅率討議の基礎とさせざるやう濠洲政府に要求する

北滿に鳩通信所
送られる可愛い鳩

滿洲國軍政部では國內警備通信の補助機關として軍用鳩の飼育訓練に力を入れて居るが今度北滿方面は傳信所を設置する計畫を樹て、佐々木鳩班長は去る八月下旬より松花江流域を約一ヶ月に亘り視察した結果、伊蘭地區警備司令部と佳木斯、富錦の三ヶ所に鳩通信所を設置する事となり、本日寬城子鳩班より八十羽の鳩を伊蘭に送つた（寫眞は佐々木鳩班長と北滿に行く鳩）

定期旅客機
荷物丈けで出發

〔大黑河六日發國通〕十月三日の定期旅客機がチチハルより飛來着陸後歸還飛行に際しチチハル行旅客六名は携帶品を積込みて乘組を待つて居る中、プロペラの廻轉始まり、試運轉であらうと思ふ內、離陸しそのまま客を取殘して出發して了つた、旅客中には多量の砂金を積込んだ者もあり、一時大騒ぎとなつたが、旅客中には直ちに汽船でハルピンに向つたものもある原因は地上聯絡員と操縱士との間の聯絡上の手違ひで、操縱士は旅客の乘組みを終つたものと思ひ、地上勤務員は試運轉と思つた誤解であるが、何れにしても珍らしい事故である

ソ聯の公文書僞造
國際信義に反す
駐滿大使館某書記官語る

ソ聯政府が我駐滿大使の公電なるものを中外に發表せる事件は俄然重大化し我外務當局は此の國際信義を無視せるソ聯の背信的行爲に對し何等かの必要手段を構じつつあると報ぜられてゐるが、右に關し駐滿大使館某書記官は語る
ソ聯政府が菱刈大使の外務大臣宛報告書なるものを公表した趣きは新聞電報で承知してゐるだけで未だモスクワ太田大使よりの公電に接してゐないから何等意見を述ぶることは出來ない、併しその所謂報告書の內容が北鐵沒收の可能なる事を述べ且北鐵沒收及び鐵道ソ聯幹部の逮捕が日本側の使嗾に基くものなる事の趣旨を述べてゐるものとせば事實に相違する事これより甚だしきはない、勿論大使館としては日本が北鐵に就き關係重大なる關心を有する關係上隨時本省に報告を致してゐることは事實であるが、ソ聯側の言ふが如き無茶な報告は一度も出してゐない日本が斯る陰謀を策する必要がどこに有らうか、この問題に關し我々としてはソ聯側に次の樣に反問したいソ聯が大使の外務大臣に送つた報告書を入手してゐると稱する以上之はソ聯が密に公文書を竊取したか、或はそれを僞造したか何れかでなければならないが何れにしてもソ聯側が國際信義に反する重大なる行爲を敢てなしつつあるものである北鐵買收問題に對し日本政府が誠心誠意を以て滿ソ兩國間の仲介の勞を取りつつある矢先斯る常識はずれの行動に出で居る事は誠に遺憾千萬である

國都建設に資する諸材料の統制
勞働者との勞資協調に就て
協和會民間側と相談會開催

滿洲國の產業の開發、經濟的復興に資するに重要なる『鐵道』の建設、道路の開設、國都の建設が最も緊急を要する事業なりとの見地から滿洲協和會に於ては建設事業に從事する日滿兩國請負業者の統制、建設に必要なる諸材料の統制從業勞働者との勞資協調等に就て滿洲國政府當局の對策と相俟つて民間側當業者に之等建設事業に關し隔意なき意見の交換を行ふ可く來る十五日午後四時よりヤマトホテルに於て建設事業の相談會を開催する事となつた、因に出席者は關東軍側より植木委員東東福主計、秋山中佐、井上中佐、是安囑託、山際囑託、田中參謀、滿洲國側より坂谷次長、皆川秘書處長、高橋實業部總務司長、迫交通部總務司長、竹內民政部總務司長、藤根鐵道局長、金新京市長等出席『他に』民間側から榊谷滿洲土木建築協會長以下藤田、丸山永淵、中村の四協會員等も出席の筈である

朝鮮水產が大々的に滿洲進出
十八、九兩日を朝鮮水產デー

日本水產界の王座を目指す朝鮮水產會では、京圖線の全通により水產物の北滿進出を『圖る』ため、十六、七兩日新京に於て朝鮮水產物卽賣會を開催するが、今回は特に規模を大きく先づ十五日は日滿兩國各機關や商業、經濟關係者百余名を市內賓宴樓に招待朝鮮產水產物を材料とせる料理の試食會を行ひ、十六、七兩日は輸入組合橫元大阪府貿易館分館に於て奉天以北哈爾賓以南の水產物取扱業者五百余名、（二等片道切符支給）を招待、卽賣並に商談取引を行ひ、十八、九兩日は朝鮮水產デーとして十八日は滿人に十九日は長春座で日本人に朝鮮水產映畫をプログラムに挿入して上映、入場者には朝鮮水產罐詰乾魚、鹽魚、その他加工水產食品を洩れなく土產品として進呈することになつてゐるが斯の如く眞劍な大掛りな內鮮商品の進出は『今回』が初めてであり、地方事務所勸業係や、輸入組合、商工會議所では大に後援すべく萬般の準備を進めてゐる

行山義光氏
奉天高等法院推事判事に

九日の國務院會議に於て奉天高等法院推事に判事行山義光氏が任命される事に內定したが氏は昭和五年高等官三等に叙せられ關東廳地方法院部長として今日に及んでゐる

日本大演習陪觀の于芷山上將
執政に面謁の爲め來京

十月下旬北陸地方で實施される陸軍特別大演習陪觀のため滿洲國より派遣される奉天省警備司令官于芷山上將は出發の挨拶をかね執政に面謁のため軍事顧問菅野少佐、劉參謀長帶同九日午後七時三十分着列車で來京した

久泉參事官の悲壯な戰死詳報

〔チチハル十日發國通〕木蘭縣久泉參事官の戰死せる事件に就き、同縣梁警務局長より左の如く本日詳報あつた
四日夜十二時過ぎ城外の匪賊徐洛六等二十餘名は縣公署後院に駐在せる警察隊第七小隊及び東西門に分駐する第二小隊合計二十八名と合流、縣長及び參事官の寢室に向ひ猛烈なる攻擊をなした、富縣長は銃を執り應戰せしも效なく窓より逃れ、警務局長と共同して猛擊を爲し同時に周連長、姜中隊長と聯絡をとり各兵士を率ゐて協力攻擊を爲したるに匪賊は遂に支へ切れず縣公署の門に放火し、監獄の囚人を解放して東北方に逃走せり事變後調査したるに久泉參事官は左腕、右胸及び左脇の三箇所に敵彈を受け絕命、縣長の娘は足部骨粉碎され姜中隊長以下負傷、匪賊の損害は捕虜一名戰死三名、負傷六名である、尙匪賊に掠奪された銃二十九挺、彈藥二百八十發、國幣八百圓、哈洋二十圓餘反亂の原因は表面上半期俸給不拂ひと稱するも實は掠奪で大暴風雨にて防禦困難なるに乘じたもので、匪賊は現在第二區關內張家崗附近にあり、梁局長は部下を率ゐ追擊中尙城內は既に治安恢復で市中には損害なし

北支各部隊
續々凱旋

〔東京九日發國通〕北支在留邦人保護に渡支した第一師團の第三、第二中隊は午後九時半東京驛着、第七師團の第七第八中隊は十日午前五時東京驛着凱旋する

滿洲輸入組合聯合會理事長
山中氏就任

今回滿洲輸入組合聯合會理事長に元長春商議會頭だつた山中繁雄氏が就任に決定した。これで補神理事長辭任以來缺員のまま中村常任理事が代理してゐた理事長の補缺が出來た譯である。山中氏經歷 山中氏は福岡縣久留米市に生れ明治四十年東洋商を卒業、同年滿鐵に入社新京、奉天兩地方事務所に歷任、ついで安東地方事務所長となり八ヶ月間歐米留學を命ぜられ歸朝後地方部庶務課長に昇進、大正十三年三月退社この間山東鐵道監理部附を命ぜられたことがある、滿鐵退社後は長春取引所信託會社專務となり長春商業會議所會頭就任後一切の公職を退き閑居して居た、陸軍主計である

石門寨襲擊の匪團を
我討伐隊擊破

〔北平九日發國通〕撫寧附近の匪賊團は數日前石門寨を襲擊したが之に對し、八日我軍は山海關より一部隊を急進せしめ匪賊團を擊退した

司法官會議に
三氏出席

新京總領事館花輪司法領事同今江檢事々務取扱、新京署倉田司法主任は十日から關東廳で開催の司法官會議に出席のため九日午後四時三十分新京發列車で旅順に出張した

濠洲の爲替ダンピング稅
日本除外說
大阪某所へ入電

〔大阪十日發國通〕去る五日濠洲聯邦下院に於て可決され卽日實施を見るに到つた濠洲の英帝國特惠關稅率引下げ及び爲替ダンピング稅に對し、我外務省では之を重大視し、近く濠洲政府と折衝を開始する豫定であつた矢先、大阪市內某所入電に依れば濠洲にても斯る新關稅實施に對し、日本を最大の顧客とする羊毛商並に日本品取扱業者側から猛烈な反對が起り、右爲替ダンピング稅の實施に就ては日本を除外するやう內定した旨の情報があつた

北海道帝大教授
來滿

〔大連十日發國通〕北海道帝國大學古藤、大賀、佐山、鷹部屋諸教授は十日入港のハルビン丸で來連したが土木、機械、鑛山の各部門に亘り滿洲各地の視察を行ふ筈

大原議長
就任挨拶に來社

新京地方委員會議長に就任した大原萬千百氏は十日新京地方事務所庶務係長稻葉賢一郎氏同道各方面を挨拶に歷訪した

滿洲國全貌
大使官邸で試寫

滿鐵弘報係の手によつて作製された滿洲國全貌、明け行く滿洲並娘々祭の發聲映畫は十日午後一時半より大使館官邸に於て菱刈軍司令官以下各幕僚及來京中の德川日本赤十字社副社長參觀の下に同映畫の試寫を行つた

前田國通記者

新聞聯合社臺北支社次長前田圭氏は九日午後十時過ぎ突然腦溢血同樣の症狀に陷り應急手當の效もなく十日午前一時二十分家族並に同僚に見守られつつ眠るが如く逝去した旨當地關係方面に入電があつた

四平街

伊藤新八氏
民團懇談會出席

來る十四日新京駐滿海軍部で開かれる第十一回民團代表定期懇談會へは伊藤新八氏出場に決したが提出議題は左の通りである

一、失業救濟機關急設の件

一、自由移民輔導機關設置の件

一、地方農村開發に關する件

一、日滿衛生連絡に關する件

二警部補挨拶

這回四平街署勤務となつた警部補木村浩平、同北村公明の兩氏は原高等係の案內で九日市內重なる關係者を歷訪着任挨拶をなした

長安警部補
鐵路總局入り

四平街署高等係主任長安警部補は這般勇退鐵路總局入りしたが六七日各方面を訪ね告別挨拶した、離四日取は未確定である

軍官候補生決定

四平街在鄕軍人分會に於ては同分會員中より滿洲國日系軍官候補者募集中の處右記三名の希望者あり去る七日分會長の手許にて履歷書に推薦狀を添へ軍政部へ發送したと 淸水正人（二三）林正久（二八）內田辰二（二六）

昌圖の電話網
計畫

去る一日昌圖縣公署に於て開催された縣下各村長會議にては縣下各村公署間の電話網を計畫萬場一致可決確定したが架設方法は通信會社と連絡の上使用料金は全部村公署負擔とし將來は通信會社に移管するものであると

理髪屋大和軒が突如散髪料の値下げ
組合では大あはてゞ對策協議
本人は社會奉仕を看板

市內大和通理髪業大和軒こと阿比留稔氏は「社會奉仕」を名とし

『敢然』起つて理髪料金の値下を斷行し、組合員は勿論、全市民に一大センセーションをまき起してゐる、これを知つた組合側では驚き、何等の通知に接せず獨斷行爲を取ることは組合組織を破壞するものであるとて十日組合長を先頭に役員二名は新京署に猪股衛生主任を訪れ阿比留氏のとつた組合違反行爲を申述べた、同署では事情を聽取すべく阿比留氏を

『呼出』すことになつたが、右に就き猪股衛生主任は語る

市民から市內の物價高を叫ばれてゐる今日阿比留氏のとつた行爲は全市民に對し喜ばれることではあるが理髪業は當局の許可制度になつており且つ組合が組織されてゐる關係上、組合を無視したことは面白くない又値下値上ともに組合から願があるべき筈だが今の處自分は何等聞いておらない、現在の組合には別に統制を欠く樣なこともあるまいと思ふ

規約無視の組合はもう必要ない
組合脱退の經緯を語る大和軒

今回の問題大和軒の主人公阿比留稔氏の意見はこうである

昭和八年三月値下げされたのは組合長の獨斷專行で何等組合員に計つてゐない、

『長春』から新京になつて好景氣になつてから値上げとは變である、當方は調髪を七十錢を六十錢に、シングル料五十錢を四十錢に、白毛染一圓を五十錢に、婦人白毛染二圓を一圓乃至一圓五十錢に値下げした、その際は大和軒も他に應じて値下料金で仕事したが組合員が熱がないのでかねて組合の處置が氣にくわずにゐたもので、九月十八日午後十時脱會狀を提出し九月二十日には市內某同業者が大和軒の一職人を二十圓で買收し組合規則には組合店職人はやめてから新京では三ケ月以內には使用してならぬ樣になつてゐるのを無視して一日二日、ハルビンに遊ばして直ちに市內の同業店で働かしてゐた、組合をより强固ならしめるため刺激を與へたい氣持ちである、第二回脱會狀を十月六日提出したが二日しても何とも組合でいつて來なかつたから默認したものと

『看做』して七日午前零時頃大々的に値下斷行のビラを市內各所に貼附したものであつた、兎角こんどの大和軒のとつた態度は市民には大歡迎するところであり、一方同業者には一大脅威である、同組合の役員が熱のなさ過ぎるのに憤慨してこの擧に出でたので、事件が如何樣にまとまるかは市民の關心事である

十錢位づゝ いづれも値下げ

俄然新京市民の注視のまとなり、同業者に一大ショックを與へた理髪業者阿比留稔氏（大和通り大和軒）は八日から斷然値下して社會奉仕をしようと意氣込んでゐるが値下料金は次の通りである

一、調髪料　五十錢
一、丸刈料　四十錢
一、顔剃料　廿五錢
一、小供調髪料　二十錢
一、男女シングル　三十錢
一、婦人洗髪　四十錢
一、白赤毛染　男　八十錢　女　一圓三十錢

特別サービスとしてはヘヤーアイロン、美顔術、顔面マッサーク、愉快術、脱毛止、養毛術等で率先して値下斷行し社會奉仕をなしてゐる

組合側の意見

理髪同業組合側ではこの問題に對して左の樣な見解を持つてゐる

組合の規則も同業者の迷惑も無視して單獨に値下げされては組合の統制を亂すとともに市內同業者間にこうした事に出づる者があつては親睦が保たれないから今後はお互ひ自重してもらひたい、今度の問題は差したる事もなく圓滿に解決することであらう、なほ組合長は朝から外出して顔を見せないが何處を奔走してゐるのか、夕方になつても歸宅しなかつた

滿洲入りの密柑
今年は少いか

今年度內地蜜柑の作柄は、新木が多いため平年作であらうが滿洲輸入量は二割減の予想であるその原因は購買力の減退を懸念されてゐるからであるが、洲內の林檎が不作のため幾分見込みはある、而して昨年の輸入量は全滿で四十五貨車一車六百乃至七百箱即ち十七萬箱で相場は特等三圓八十錢、中粒三圓四十錢乃至三圓五十錢、小粒三圓二十錢乃至三圓三十錢で、新京ではこれに運賃や問屋の口錢が加はつて八圓余りになり小賣相場は又口錢が加つて約二倍半になるわけである

書店の窓から讀書の傾向を觀る
なんといつても婦人雜誌の賣行きが斷然第一

新京市內の書店は森野、大阪屋號、ミツワの三店であるがその店先から覗いた

『市民』の讀書傾向を見ると、何と言つても一番賣れるのは婦人雜誌で、婦人倶樂部、主婦の友が一位、次に婦人公論で、一番少いのが婦人畫報、婦人公論は、滿洲國方面のタイピストやダンサーがお客さんで女給でも公論を買ふインテリが可成ある、次いで文藝春秋オール讀物號で、これはサラリーマンから男女を問はず老人にまで受けるらしく讀書階級を廣汎に持つてゐる、改造中央公論、新潮の高級雜誌は改造が一番多く、滿洲國官吏滿鐵、銀行、會社等のインテリ向きで、新潮は一部文藝愛好家以外には余り賣れない、次にモダン日本や、講談物はモダン日本は別として花柳界に多く、藝妓や仲居の紅涙を誘つてゐる、又近頃出た話も內容が幾分暴露的なためオール讀物に次ぐ賣れ行きとあるサテこれを單行本で見ると全集洪水の後を受けて小說物の賣れ行き惡く、年鑑、統計物の中でも滿蒙に關係あるものが賣れてゐる等、民衆の

『關心』が奈邊に拂はれてゐるかゞうかがわれる、其他法律經濟物や思想物は普通の賣れ行きで、殊に目立つてゐるのは左翼物の賣れ行きがないことで、赤色黨員の轉向によつて次第に赤が沒落してゐることを物語つてゐる

殖ゑる附屬地人口

新京署調査による九月末日の管內附屬地總人口は四萬六千九百九十六人で、前月に比すると七百五十九人の增加を示してゐるが、この內內地人の增加は一日平均二十人强で六百十九人、內地人總人口は二萬一千百五十八人、內男子一萬千九百七十九人、女子九千百七十九人である

兵士ホーム 慰問團から
第六信（十月四日）

今、六溝と云ふ所で自動車（トラック）の中にゐます、山の頂の眞中で自動車が故障の爲め止つたので兵隊さん達が汗だくで修理中でございます、右の方では苦力が建設途上にある道路を作つてゐます天高く、白く靜かに流れる雲は何時しか見えなくなつて、もう夕闇の帳があたりに立ち込んで薄暗くなりました、此の時秋の歌手は自然の音樂を許されたのです今を限りと高らかに高原の野に鳴き續けてゐます

私の前の自動車は一向兵隊さんの命令に從ひません。こゝは平泉と弓溝の途中で一歩踏みはづすと千仭の谷です、その爲め道路がこはれると後に續いてゐる十數台の自動車と兵隊さんはどうなることでせうそれを思ふと胸がせまります午後五時半夜源に着いたら係は自動車本部を御慰問する考へでゐます、聞くに勝る御苦痛はまのあたりに見えます、戰爭の時はこれとは比較にならないとは……そろ／＼と自動車は動き始めました御安心下さい

常磐津溫習會に突如脫退者現はる
稽古もさせずに札を賣らせ
千鳥連先づ狼火

常磐津正菊師匠門下の千鳥、曙、開花、南海、大寺等々の藝妓連の溫習會はいよ／＼今十一日夜から

『華々』しく長春座で開演に決し十一日は長春座に活動寫眞の晝間興行があるので繰上げ十日に舞台稽古まで行つたところ傳へられる處によれば千鳥の藝者部屋に起つた師匠呪咀の聲は忽ち爆發して遂に溫習會不出演を決議して師匠方に通告を發したので師匠は慌てゝ出演方を交涉して居るが千鳥連の決意堅く動かし難きものがあり同溫習會に一抹の暗雲を醸してしまつた千鳥連憤慨の根本は碌々藝の方は教へずに演習會の入場券を賣らせる事ばかり考へこれでは藝道の修業のためでなくただ師匠の懐を肥すばかりであり怪しからぬといふにあつた世間でも藝妓の入場券押賣りには迷惑を感じてゐた矢先であり、この千鳥連の執つた態度に好感を寄せ拍手をもつて迎へてゐる、金只金で溫習會のプログラムに商店の

『廣告』をのせしかもそれを藝妓連中に强制的に賣らしめたのは師匠の夫內田某が陰に在つて操つたものだと消息通はこれに對して大きな反感をもつものが多いと語つてゐた

商業校の教練射擊査閱

新京商業學校では十三日午前九時から例年の如く同校々庭及西公園野球グラウンドに於て世良大佐の手により全校生徒の教練、射擊の査閱を行ひ午後は同大佐の講演並遼陽附近の滿鐵中等學校聯合演習の活動寫眞を映寫すると

そろ／＼ちかづくスケート季節
今年は兩小學校の校庭を一般の爲夜間開放

そろ／＼寒くなるにつれて外出は鈍くなる、その結果は運動不足となつて冬半歲の間に吾々は隨分身体を損ふことになるのだが、地方事務所社會係では今年は

『新京』人口もうんと殖え住宅難のために戶內生活に一層不自由を來たしてゐる際なので此際特に戶外運動を獎勵をはかることゝし、來る十一月三日の全國體育デーを期して新京市民の戶外デーとして適當な方法を講ずることゝなつたが、なほ冬期唯一のスポーツであるスケートは例年十一月中旬から行はれるが今年もこの分では十一月十五日前後から開始される見込で今年は西公園のほかに市內の各所にもスケート場を設けるべく適當な

『土地』を物色中でとりあへず室町、西廣場兩小學校の校庭を一般のため夜間開放することに學校側の諒解を求めて實施されるべく豫算八百圓を投じて目下着々と計畫をすゝめてゐる

神宮競技に
ボートの鈴木君を選出
昨夜の汽車で首途

昭和五年の秋明治神宮オリンピック豫選大會馬術選手として新京驛から滿水氏が出場して以來未だかつて神宮競技に選手を送つたことのなかつた新京から今回ボートレースに滿洲チームの一員として滿鐵新京地方事務所の鈴木忠一郎氏が出場することに決定、十日午後四時半新京發列車で勇躍出發したが氏は大倉高商時代のボート選手で、大連で一同と會し、十二日大連出發東京に於て猛練習を行ひ二十九日から開始される豫選に出場することになつてゐる、氏は出發を前に語る

キット勝つて來ます、新京に居るため練習不足を懸念してゐますがその分東京で人一倍猛練習をします

語學檢定試驗豫備試驗
合格者發表

去る九月三日各地に於て一齊に施行したる滿鐵語學檢定試驗の合格者氏名は十月七日附滿鐵社報にて發表されたが其の中新京の分は左の通りである

支那語

▲特等　面高滿、石井久男、川尻伊九、古出重義

▲一等　沖津誠一郎、加治木俊道、菊田初次、和田三郎、梅原光二、川瀨正三

▲二等　上田金三郎、田中弘、田浦正式、朴潤哲、南春藏、鶴谷寬、池崎勇司、渡邊二郎、野呂清藏、峰島貞救、寺內保滿、高橋惣一、細川長弘、德苅俊夫、坂口市郎、白水馨、田島明二郎、蓮尾秀、坂井義人

▲三等　天野敬一、李義根、吉松常爾、北山正道、米原健、中里敬太郎、田島道之、岡本博巳、小林寬一、橫山岩夫、二口正道、岩間松雄、松並弘、大石國雄、荒木俊男、山田二郎、安藤幸也、北山喜雄、山口左熊、川井慶一、宮島伊滿男、川上治一、平山賜郎、清水勝美、漢竹末安、吉原弘眞、瀨戶衛、越智敏視、多久島末武、鈴木豊、平野一、玉置龍、金貞一、氏森幸雄、大監源七、竹田大之進、齋藤德治、山邊世利人、菊地惣治、久間正人、內田民夫、森義一、中尾健太郎、高橋文夫、藤岡國太郎、中富盛重、山下猛雄、小川一吉、阿部正行、富士溪猛雄、小野寺兵助、兵也富太郎、渡邊忠之、泉德也、孤田彰太郎

▲四等　瀨戶勳、奥津仁也、中村俊平、芹澤五郎、田所三喜雄、渡邊博、大塚清雄、猪尾清一、河村范義、森義英、小山田滿、石黒寬、田中富三、中村次夫、古田勝人、菅沼耕一、深藏庸之、方津鎬、前川岩雄、泉三郎、本田皓、永淵浩、國井龍一、兒玉弘、三原遼雄、岡本重己、西村政雄、松井友勇、德永尚、西山博郡、鄭鳳碩、東島茂、前田節、川村三郎、富田久米治、蝦名武次郎、堤辰男、木原勇、杉山介治、成田充、市山澄、前川正一、石垣正信、江原義市、佐野憲一、小野寺重郎、山口泰治、加藤勇二、成末博志、原製淡雄、永井武、佐々木剛、藤山晶雄、西正二郎、小野村愛子、出田修秋、稻葉三郎、木滿隆、高齊秀雄、谷村武堯、工藤長左衛門、谷村武男、手島安次郎、田中治男、淵脇篤、澁谷三郎、磯谷政三、山形昌道、石關進一郎、上田停、岡田笑子、三川嘉代子、田中奈美代、平原よし子、中川松江、柴田紊美子、伊藤愼吾、山下清一、秋元淳、志田義雄

露西亞語

▲一等　阿部敏夫、平川博行、宮本友一

▲二等　荒木正美、平原弘、佐賀野良太郎、杉谷馨

▲三等　森崎一郎、播振鐸、坂根廣、渚浩、石田富福、中村光清、坂島正男、春田靖、羽原守雄、林芳美

本試驗施行期日は追て發表する由尚日本語合格者は不日發表の豫定なる由

九月中 新京の犯罪統計

新京署司法係の九月中の檢犯罪件數は百四十件、內檢擧數は百九件で前月に比し發生十件の增加を示してゐる、この內窃盗百二件が筆頭で、次ぎは知能犯罪である、詐欺二十四件、檢擧された犯人國籍別を見ると日本人男二十三人、女二人、支那人男三十五人、露人男二人である、なほ行政諸規則違反者は百三十件に達してゐる

室町小學校 今年で二十五年
大々的記念事業の準備

十一月中旬創立二十五周年記念展覽會音樂會を催す室町小學校では早くもその準備に取りかかつてゐるが來る十六日午後四時から同校で父兄會評議員會を開催、記念事業の下打合せをなす

大同自治會館に腸チブス

市內新發屯大同自治會館二三七號伊藤清子（30）さんは去月廿九日發熱九日腸チブスと判明し滿鐵病院に隔離された

あす家事講習所で
生花講習會

新京地方事務所主催で滿洲產花卉利用生花講習會を十二日（木曜日）午前十時から家事講習所で開かれる、會費不要で一般の參加も歡迎するとなほ講師は帝國華道院顧問池坊總華賢根本如空氏である

滿洲醫學會
皮膚泌尿科の分科會設立

滿洲醫學會には從來醫師の少數により分科會の必要を見なかつたが大滿洲國の建設とゝもに內地人の人口は極度に激增し滿鐵各病院とともに醫師の增加と相並んで開業醫師が殖へたゝめ滿洲醫學會內に分科會を設け各專門ごとに研究を進めるべく協議を重ねてゐたが愈よ皮膚性病泌尿科が各部に一步進んで分科會を設け來る十五日奉天醫科大學で第一回發會式を擧げることになつた

讀者の聲
不埒な師匠だ
一憤慨生

新京料理店組合書記の女房である常磐津の師匠の弟子達の溫習會が十一日と十二日兩夜長春座を借りてやるので早くから藝妓たちはその入場券を最負筋へ押しつけて歩いて居た必死の努力空しからず賣りも賣つたり買ひも買つたり其數五千枚に上つたと傳へられる、果してそれが事實とすれば實に怪しからぬことだ、會場である長春座の定員が何名であるか考慮に入れず賣りさへすればいゝではあまり虫がよすぎる、勿論始終料亭に出沒して大風呂敷をひろげてゐる連中はこんな場合その面子で相當の入場券を買ふべく余儀なくされるのは寧ろ痛快である、しかも一軒ならず數軒から押しかけられて默とは云へず買ひ取る面を想像して見ると微苦笑を禁じ得ないが、此賣つた入場券悉くが長春座へ押掛たとしたらどうなるだらう、取締官廳は藝者のすることだからいゝとしても粹をきかして少し位の窮窟は默過するつもりかも知れないが、兩夜合せて二十五、六百しか收容出來ないのに五千人分の入場券を賣つたら殘りの半分はどうなるかよそ事ながらその無茶な催しに呆れざるを得ない、不渡手形をつかまされるやうな立場に置かれた人々に何と申譯をするか、しかも此五千枚を捌く蔭には聞捨てならぬ事態が潜んでゐる聞く處によるとそれ／＼入場券を渡された藝妓たちは若し賣殘つた場合は自腹を切つてその數に値する金を七八を置いても工面して師匠へ顔をたてゝゐると云ふことだ、憐むべき哉重なお義理ではないか若し賣捌が少なかつたら師匠の亭主が組合の書記であるが故何時祟りがくるかも知れないといふ危惧の念を懐く哀れな彼女等はいろ／＼費用が要りますからと少しでも顔馴染のある處は口説き廻り入場券を買つて貰つて居る、師匠なるものは己が弟子の平素練習したところを多くの人々に見て貰ふのであるから多少懐を痛めてもこれを演らうといふのならいゝが、溫習會を口實に金儲けをしやうとする不埒千萬な企である、費用は幾ら要るか知れたものである劇場借賃、道具方心付、道具方心付などはその家々で出すから勘定に入らぬ譯だ入場券やプログラムの印刷代をこめて二百圓もあつたら充分だらう、差引四千八百圓は殘る、尚その上プログラムに刷込むと稱し市中の各方面から集めた廣告料が五六百圓ある、それも皆藝妓が分擔で廣告取りまでやらせられてゐる、こんな不埒なことが其筋の耳に入つて居らぬ筈は無いがそれも默過だ何といふ奇怪なことだらう、こんな弊風は矯めぬと溫習會をやつても藝妓の向上に役立たずのだ、尤も今は新京景氣で頭の毛が長くさへあれば藝者でなつて線香代が稼げるんだからいゝやうなものゝ、こんな惡辣な手段で儲ける奴は懲戒の要があらう

商標法の內容 附り、同施行細則（十一）

第五十四條　商標の出願、請求其の他の手續を爲す者は左の區別に從ひ手數料を納付すべし

一　商標登錄出願　每一件　五圓
二　商標登錄出願人の名義變更屆　每一件　一圓
三　登錄證複本の申請　每一件　五圓
四　登錄證再下付の申請　每一件　五圓
五　商標專用權存續期間更新の登錄出願　每一件五圓
六　再審査の請求　每一件　二十圓
七　訴定し請求　每一件　三十圓
八　費用額決定の請求　每一件　一圓
九　費用額決定の執行力ある正本の請求每一件　一圓
十、法定期間延長の請求　每一件　一圓
十一　商標法施行細則第二十六條第一項但書の請求　每一件　二圓
十二　商標法施行細則第五十三條第二項の請求　每一件　一圓
十三　指定期日又は指定期間の變更の請求　每一件　一圓
十四　證明の申請　每一件　一圓
十五　書類の謄本の申請　每一件　一圓
謄本一枚に付五角歐文書類は百語に付五角百語に滿たざるも亦同じ但し書類中圖面又は商標見本は商標見本一枚に付一圓以上三十圓以下に於て商標局の定むる所に依る
十六　書類の閲覽又は謄寫の申請　每一件一時間五角一時間に滿たざるもの亦同し

第五十五條　登錄費及手數料は收入印紙を以て之を納付すへし
登錄費又は手數料の納付ありたるときは商標局は領收證を發給すへし

附　則

第五十六條　本則は大同二年十一月二十日より之を施行す

別　記

第一號書式
登錄第　　號
商標登錄證
國籍（外國人の場合）
住所（營業所）
氏名（名稱）
商標見本（貼付）
商標を使用すへき商品名及其の類別
專用期間自大同　年　月　日
至大同　年　月　日
前記商標は登錄すへきものと確定す原簿に登錄し玆に登錄證を發給す
商標局長　氏名　印
年　月　日

第二號書式
登錄第　　號
聯合の商標の商標登錄證
國籍（外國人の場合）
住所（營業所）
氏名（名稱）
商標見本（貼付）
商標を使用すへき商品名及其の類別
聯合の商標の專用權登錄第　　號
專用期間自大同　年　月　日
至大同　年　月　日
前記商標は登錄すへきものと確定す原簿に登錄し玆に登錄證を發給す
商標局長　氏名　印
年　月　日

（完）

北滿の豐庫 大黒河を語る

友田祐弘氏からの通信（二）

十五日は、記念日で、ハルビンも相當に賑つておりましたがそれどころでない、兵士連と共に永安と云ふ船に乘り込みました、松花江は御存じの如く源を南北滿に發して、黒龍江と合して日本海に入る大河でありまして船は輪船と云ふ型式の水車船で、動力は薪を燃料とする、蒸氣汽罐であります

永安は第二式の船で速力は一時間日本里數の約五里、屯數は五百屯、乘客定員三百名と云ふ船であります。元ロシア人經營の時は、晝夜の別なく運轉したそうですが、滿洲人經營になつてからは、夜分の運轉を致しません、そして松花江、黒龍江を上下する客船は大体、船の型式太さ、速力に於て大差ない樣です

乘り込む迄の話では船は通常七、八日位で大黒河迄到着するそうでありましだのが愈よ乘船して見ると今度は軍隊の荷物を大船（ダンペ船）に滿載して、引船で行くから十五日位かゝるだろうとの事でありましたが其の通りで、松花江下りが六日、黒龍江上りが八日前後丸々十四日を要して二十八日午前七時に大黒河に到着致しました

途中は晝間は氣候も暖いですが、行けば行く程、夜分が寒くなりました、丁度日本の十二月中頃の氣温になりますので兵士連も、私共も皆風を引かぬ者はなく、中には熱あつて冷やすものもあり中々多忙でありました

一番困つたのは、支那式と云ふか、便所の不潔な事と構造が、日本人には、まことに、工合が惡いのです、それと、客室が狹くて暗くて、之も不潔な事天下一、乘り込むとすぐ例の、ナンキンのやろう、ゴソ〳〵と、列をなして、私達に敬意を表するので困りました、それで喰物はリンゴ一個小さいので五六錢大きいのは十錢以上、食事は一日二食で支那料理二圓、三食で二圓五十錢であります美人連には料理が殊に氣に入らなかつたようでありました、又引率者としても一日、二十八圓の食料を十四日も支拂ふのでは、とても採算の執れた話でありませんので、四日目には途中寄港地で、白米、肉、菜等々十餘圓程買込みまして、漬物を漬けたり、料理場の、隙を見て自炊を始めました

右樣の事を相合して考える時今後は同行二、三人であつても、コンロ、鍋其他必要の炊事道具を簡單に一通り船に持ち込んで行つたなら思ふ品が安値に買えて船中の退屈凌ぎにもなるので頗るモダン式だと思われます、ハルビン、同江間は一日大低三ケ所平均に寄港して行きました、同江とは、松花江と黒龍江と合した處で對岸はロシア領であります

其の間、螢井、木蘭、通河、依蘭、迎蘭鎭、湯原、桂木斯、樺川、富錦等は何れも日本軍の警備あり、市中も人口、三千乃至五千の部落でありますが桂木斯の如きは人口五千餘にして、日本、朝鮮料理も二、三あると云ふ事でした、船客一同は此の地約五時間の寄港時間を利用して市中の見物をするもの、入浴するものあり相當繁華な土地でありしたけれども、支那料理ギョウザの味は新京には及びませんでした兵士連は、同江に出る一日前に私服と着換へて、兵器も檢査を終りました、小銃は一人四挺宛所持して居られたやうでした同江を出帆して黒龍江を遡つたのは廿一日の午前九時だつたと思ひます、今迄赤土色の河の水は、俄に青黒色の水に變つた事を思ふと黒龍江の流域は松花江に比較して林產物に富む事が想像されます、案の狀二十二日の沸曉から船は、兩岸共山林の間を縫ふて上つて行くのでした、そして午前十一時頃には山麓の江岸に停船する事二時間餘、其處には、堀ツ立小屋只一軒で、船の薪供給所あるのみでした、船員はコサックに至るまで各々エカとなつて薪を割るもの、其れを運ぶもの船室で整理積上けるものあり、之等の現狀を見ると滿洲人は何處に行つても仕事をするのに氣分が餘りに悠長にありすぎる事が判ります、之れでは、滿洲國政府も、チハヽル大黒河間の鐵路完成に、懸賞金まで出して急いで居る筈だと思はれました之れと同じやうな所に五ケ所停船して佛山に到着する迄約三日間は兩岸共平野を見る事は出來ませんでした

河は行けども〳〵S字のカーブで山麓は紅葉に點々と綴られて居ります、此の上、家でもあつたなら丁度、油繪のベニスを運航して居るのではあるまいかと思われる程景色と感じは申分ありません長い間塵芥の多い都市に住んで居ました私共は久方振りに明け暮自然の美を味ひました、二十四日の晩に佛山で二十六日の夕方は奇克特に到着しました、兩所共、陸路の交通餘程不便であるのか、說明した程の邪落でもありませんでした

松花江の江岸部落に比して半ばにも及びません・佛山から奇克特までの間は前に反して只、廣茫たる平野で何等地勢的には變化もありませんでした然し途中三、四ケ所露領の方に塹壕らしい所を見受けました事は事實で眞に奇怪な感じが致しました

アイコウに着いたのは二十七日の晩十一時頃でありました此所は大黒河に次いでの要地で、前には人口二萬餘もあつた相當な部落だつたそうですが、現在は大黒河と同樣の理由さではどまでありませんけれども、日本兵の守備もあり軍部關係には、政府も相當設備をしてあるとの事で近々日本兵五ケ中隊の駐屯になるとの事であります、黒河には僅一時間で自働車の便があります、此處まで、來たら船客一同も下船の準備にかゝりました、それでも船はまだこれから五時間位かゝりました

アイコウを午前三時半頃出帆して、沸曉、大黒河に差しかゝると右手が露領ブラゴエで左手が大黒河であります、遙さき、流石に、黒龍江北滿の主都である事が想像されました

大黒河は現在、日本人主として軍隊所屬者三百名位で、滿鮮人を併て約一萬五千の人口だと云ひます以前即ち歐洲大戰前には人口五萬を出で、其の頃には、日本料亭も十二軒露領に九軒あつて、お互に、河を越えて遊びにも行き、貿易も盛んで、其の間密輸も行はれて、日滿人共に相當な收金を上げたのだそうでありますが、露國內亂と同時に白系が壓迫されるやうになつてから今日に至る尚且、對岸の貿易は中絕し、都市の衰退は日を追ふて激しく現在では、露領は勿論黒河にも、日本料亭等は一軒もなく、昨今滿洲國政府は日本政府と相互に軍部を主として其の他種々なる役所が新設される事になつたので俄に景氣づいて近く日本料亭も四軒程出來上る譯であります

海の外から

□藏書の大仕掛け消毒
米國カリフオルニヤ圖書館で目下實施中の貯藏圖書消毒法は大量の書籍を短時間で消毒出來るといふので全米圖書館では追々採用の見込みが付いてゐるがローマのバチイカン圖書館でも同樣設備を施すことゝなつた、即ちタンク內に無色無臭の消毒瓦斯を充滿させ書籍棚に車輪を附けて自由自在に運搬する

□市俄古博の强制閲覽
市俄古萬國博では一般に保健思想を普及せしむる一助として生水一滴中に含有する菌類を直經五米大の台紙に寫眞擴りして入場者に强制閲覽せしめてゐる

□鷄卵の及す痘苗製造能力
英國政府痘苗製造所技師・テボソン及びパトラー兩博士は豫て鷄卵と痘苗との關係を硏究中の所鷄卵は痘苗製造能力を極度に高める旨學術的自信を得たので近く發表することゝなつた

ラジオ。[illegible]

品名	値	品名	値
活鯛	一〇〇 六〇	チヌ鯛	四五 三四
小タイ	六二 六〇	マグロ	一三〇 四〇
ニベ	二〇	ヒラス	三六 二三
サハラ	一六 二〇	スヽキ	二〇
サバ	二六	アヂ	一六 一二
生カレイ	五〇 一七	ヒラメ	三三 二〇
コノシロ	二一 一三	イワシ	二一
ナマカツオ	一九〇 一七〇	タチウオ	一六
ハゲ	五〇 三二	メバル	一六
ムツ	二一	アコウ	四〇 二六
サヨリ	九五 九〇	グチ	一八 一七
フカ	一三	タコ	三二 二〇
中イカ	八〇 七五	イセエビ	六六 五八
中エビ	六〇 五二	アナゴ	三〇 二六
貝柱	二〇	ナマコ	三〇 二〇
アワビ	八〇 六〇	カキ	二五
ハマグリ	一〇 一六	カマボコ	二〇 一八
サケ	三四	赤貝	
ウナギ	五〇 三五		

變幻黑船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百五十九回

片身（五）

扉を閉められて白軒は、いら立たしく、輕く扉を叩いた。

『おい、たのみだ、きいてくれ』

『……』

內部ではそれに應へない。

『たゞ、取次いでくれるとそれでよいのぢや。たのむ』

『いや、ならぬよ。たゞし……』

『なに？』

『たゞし、こちらの注文をきいてくれると、そのかぎりではないが……』

『なに？注文とは？』

『交換條件だ。お愛をおれに渡せ』

格之進は、細目に扉をあけて、白軒の返答を待つた。

『うむ、お愛にまだ執心してをるのか……なるほど……だが、渡したいにもそのお愛は拙者のもとにをらぬ』

『いや、たとへ、お主のもとにをらぬとも、行先きは知つてをるだらう』

武七郎は、傍から口を入れた。

『そのお愛なら、高島沖のフランス軍艦に、お主と一緒にをつたではないか』

『ところがよ、隙をねらつて、おれと二人、あの黒船を脫走したのだが、つひまた高島で取逃がしてしまつたわい。松井、お主のあとを追ふてこの函館へまゐつたのぢや。お主、知らぬとはいはさぬぞ』

格之進は、それだけいつてしまうと、再び扉をしめた。

『待て！』

『いや、もうあけぬぞ。お愛を納得さして、これへ連れてまゐつたそのときこそ、よろこんで扉もあけてやらう、オロシア士官殿にも何かと取次いでやらう。それまでは一切お主らを取次がぬよ』

白軒は、扉を強く叩いた。

『ところが、眞實に、そのお愛は拙者のもとにをらぬのぢや。そのやうな無理難題ではなく、他に注文があらう。それをきかう』

『成らぬ。お主のもとにをらぬなら、金の草鞋をはいて搜してまゐれ、どうせお主を尋ねてをるお愛だ。おもてむき顏を出すと、どこにをつても飛んでくる、それに因果をふくめて、おれのところへよこしてくれ。よろこんで扉をあけよう。まづ、それまで取次は眞平ぢや。歸るがよい』

そのまま、格之進は內部から鍵をかけ立去つてしまつた。

『困つた。……飛んだ人間がをつて邪魔されたわい』

白軒は、吐きすてるやうに呟いた。

『松井氏、こりア、カチウドどのにはお氣の毒だが、一先づ引退つてあのお愛を探し出し、これへ連れてまゐるのだね。いまのところそれ以上の策がないだらうて』

武七郎は、分別臭く眉を寄せながら相手をみた。

『ところが、いまもいふとほり、拙者、一向にあの女の居所を存ぜぬのでな……』

『いや、格之進のいふとほりフランス軍艦を脫走し、函館指してまゐつたとすれば、早晚、お主の居所を[illegible]めて、訪ねてまゐるだらう……』

『……』

『それとも、あの女を箕浦ごときに手離したくないといはるゝか』

『いや』

『さうだらう。たかが洋妾だ。身のけがれた女に何の未練があらう』

ふたりが、こんな對策を按じてゐるとき、當のカチウド老人は心ゆくばかり祖國を味はひながら、靜かに夕暮の異人館前庭をせう遙してをつた。